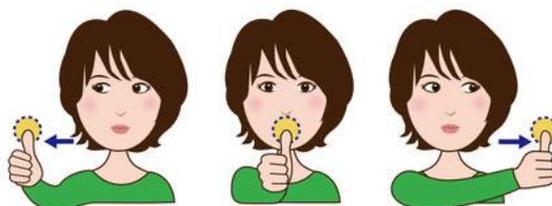


## ＜発達障害のある子にわかりやすいルールを＞

平成31年度の巡回相談員、植村先生から学級でのルールの確認のポイントを教えてくださいました。元養護主幹の千田先生より「ぜひ引き継いでほしい！！」と頼られましたのでお伝えさせていただきます。

### 姿勢を正す時間をつくる

- ・45分間を同じ形で授業をしていくことは厳しい  
→変化をつくる（指遊び、ビジョントレーニング、立つ、座る、横を向く等）



### 1学期大切なことは話を聞くこと

- ・友達の話、先生の話の聞かないことはその人にとっても失礼であることを何度も伝える。
- ・静かにならないうちは授業を進めない。

### トイレに授業中行くことについて

- ・授業中、トイレに行くことを検討。ルールをしっかりと。

### 注意をして、やらせきったら次へ進める

- ・「机の上のものはしまう」といったら全員しまってから次に進む。いい加減に進めるとそれでいいのだと思ってしまう。

### やることのない状況をつくらない

- ・1つの指示が終わった人は次に何をするのか必ず板書する。1人1人に伝えたりしない。やることのない状況をつくらない。

### 挨拶は全員がそろっていることを確認する

- ・トイレの子を待つ。挨拶は見切り発車しない。  
背中「ピン」 脚は「床」 目は「先生」

### 先生はどっしりと

- ・先生がそわそわしていると子供たちが落ち着かない。
- ・先生の声が大きいと子供も大きくなる。
- ・声の大きさを考えて変化を。

